

会 議 録

平成21年1月5日調製

審議会等名	平成20年度 第2回 三条市公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成20年11月26日(水) 午後2時～4時8分		
開催場所	栄庁舎 大会議室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	<p>運営審議会委員 (13人) 小林斉子委員長(議長) 鈴木達夫副委員長 丸山宗夫委員 丸山正夫委員 高井 茂委員 小出 昇委員 山井秀榮委員 佐野文雄委員 小柳智秀委員 近藤喜美子委員 野崎信雄委員 米山文子委員 川沼豊子委員</p> <p>公民館職員 (15人) 宗村中央公民館長 坂井嵐南公民館長 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 大坂大崎公民館長 石田大島公民館長 高波栄公民館長 土田下田公民館長 長橋館長補佐(中央) 麦倉副参事(中央) 川瀬囑託員(井栗) 田中囑託員(本成寺) 小林囑託員(大崎) 渡辺囑託員(大島) 木村館長補佐(栄)</p>		
議 題	(1) 報告事項		
	ア 平成20年度各種講座等の実施状況について(4～11月分)		
	イ 平成20年度後期事業計画(案)について		
	(2) 協議事項		
	ア 平成21年度公民館運営計画(案)について		
	(3) その他		
会議内容	別紙のとおり		

宗村中央公民館長	<p>本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございました。</p> <p>また、先月、今月にかけて、各地区館で文化祭関係の事業が行われましたが、大勢の委員の方からお越しいただいたと聞いており、各館を代表してお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>では、これから会議規則に基づき、小林委員長から議長となり会議を進めていきたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
小林委員長	<p>これより、平成20年度第2回三条市公民館運営審議会を開催します。</p> <p>会議の前に、一言だけお礼を申し上げさせていただきます。今ほど宗村館長よりお話がありましたように、私達委員に文化祭の案内をいただきました。参加された方もいらっしやったと思いますが、残念ながら私は日程が合わず行けませんでした。新聞等には大変盛大であったという風に報じられておりました。日頃の皆様の労苦を見た思いでございます。</p> <p>また、先日18日に、見附市を会場に中越地区公民館長・主事・公運審等研修会では、大崎公民館の大竹さんの事例発表があり、大変立派な発表をしていただきました。</p> <p>また、大崎公民館の方が、いにしへの道のハイキングでどんぐりを拾いに行かれておりました。それは、後で工作や手芸に使うということで、一生懸命に拾っておられました。私たちの目に付くところ、また、見えないところで公民館職員の方がいかに市民のために活躍されていることを目の当たりにして大変感動いたしました。これからも引き続き公民館をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、本日の審議会は出席委員13名であり、委員の過半数以上の出席ですので、会議は成立することを報告いたします。</p> <p>それでは、議題に沿って議事を進めます。</p> <p>はじめに(1)報告事項「ア 平成20年度各種講座等の実施状況について及びイ 平成20年度後期事業計画(案)について」説明をお願いします。</p>
長橋中央公民館館長補佐	<p>—— 説明前に資料の差し替えを依頼 ——</p> <p>—— 資料冊子に基づき、実施状況の掲載内容を総括的に説明 ——</p> <p>—— 中央公民館分、資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明—— (通学合宿、パソコン教室の実施状況)</p>
小林委員長	<p>説明に対する質問につきましては、全ての公民館の説明が終了してからお願いいたします。それでは、次に嵐南公民館をお願いします。</p>
坂井嵐南公民館長	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (夏休みこども体験学習、ふるさと講座、表書き基礎講座、文化祭の実施状況)</p>
川瀬囑託員 (井栗)	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (チビッコ広場、作品展の実施状況、くらしの講座事業計画)</p>
田中囑託員 (本成寺)	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (美味しんぼクラブ、からだの講座、宿泊体験交流会の実施状況)</p>
小林囑託員 (大崎)	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (大崎公民館分、どんぐりクラブ、子ども料理教室、くらしの講座、体育</p>

渡辺囑託員 (大島)	レクリエーション大会の実施状況) (保内分館分、夏休みチャレンジ教室の実施状況) —— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (きっず！楽しくクッキング、笑顔で子育て講座、和の再発見講座、ちょっと素敵な生活講座、スポーツカーニバルの実施状況、こころの健康についての事業計画)
木村館長補佐 (栄)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (子ども夏休み教室、ジュニア・リーダー研修会、ふるさと歴史探訪、栄公民館展の実施状況、知っ徳・納っ得講座の事業計画)
土田下田公民館長	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (通学合宿、改築記念事業の実施状況)
小林委員長	報告事項「ア 平成20年度各種講座等の実施状況について、及びイ 平成20年度後期事業計画(案)について」説明をお願いしましたが、後期事業計画(案)の説明をされていないところがありました。説明をされていないところは、説明をお願いします。
長橋中央公民館 館長補佐	—— 冬のふれあい自然体験事業計画について説明 ——
坂井嵐南公民館長	—— 芸能発表会事業計画について説明 ——
土田下田公民館長	—— 家庭教育講座、パソコン講習会事業計画について説明 ——
田中囑託員 (本成寺)	—— 美味しんぼクラブ、おかし専科事業計画について説明 ——
小林委員長	ただいま全公民館から説明をいただきました。これについて意見、質問がありましたらお伺いいたします。
小柳委員	中央公民館の通学合宿ですが、栄地区の小学生の参加がゼロの状況でした。公民館として栄地区が参加できていないということはどのような原因と考えられますか。
長橋中央公民館 館長補佐	通学合宿は昨年から実施しまして、昨年栄北小から1人参加がありました。今年は、別の小学校も参加してくれるという期待がありましたが、残念ながら参加がありませんでした。 募集については、学校を通して保護者にちらしを配付し、申込みは学校のほか各公民館にも提出できる体制をとっておりました。 アンケートを取りましたので、これから集計して、来年に向けて分析してみたいと思います。今のところ、特に理由ということは見当たりません。
小柳委員	(栄が) 参加した場合、送迎の対応は可能ですか。
長橋中央公民館 館長補佐	栄地区は、直行で行かなければ学校に間に合いませんので、送迎用の車両の確保はしてありました。
小柳委員	栄は、遠いというイメージがあります。下田は下田地区でやっています。栄地区で実施という方法もあるのではないのでしょうか。合併したので、全地区で実施が一番いいと思うのですが。
宗村中央公民館長	下田地区と同様に栄地区でやったら参加しやすいという趣旨だと思います。

小林委員長	<p>昨年も参加が少なかったので、栄地区で宿泊体験できる場所、しらさぎ荘なども考えましたが、食事を作るスペースがありません。私達がねらいとしている、自分達で食事づくりやそうじ・洗濯をするなど、栄地区の施設では難しかったため、今年もグリーンスポーツでさせていただきました。</p> <p>来年は、PRに工夫して栄地区の子どもたちが参加しやすいようにしていきたいと思います。</p>
丸山（正）委員	<p>下田地区は適応施設があるが栄地区はないので、今後も栄地区は個別にしないという基本的な考え方ですね。いろんな学校の子も達が集まるのがひとつの目的でもあるので、PRの仕方や学校へのプッシュの仕方により子ども達の参加が変わってきます。通学合宿だけではなく、いろんな場面でも見えています。恐らくそういう部分で、通学合宿そのものと学校へのアプローチが欠けていたのではないかと思える部分が見られます。小柳委員が言われたように栄地区の子ども達も参加できる体制をもう一度考えていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
坂井嵐南公民館長 川沼委員	<p>満足度アンケートを取り入れてもらい、受講者の気持ちがよく伝わってきておりますので、お手数をおかけしたことに陳謝申し上げます。</p> <p>それで、アンケートから見えてくる疑問ですが、2－1頁、嵐南公民館の夏休み子ども映写会の満足度・達成度ですが、達成度が「よかった」、「よくなかった」の2段階で実施されて、「よくなかった」が多い。なぜかと考えてみたら、満足度をみると「ふつう」が45.4%ですが、達成度は2段階評価にしたため、イエスカノーのどちらかにつけなければならないので、「よくなかった」になったのではないのでしょうか。少なくとも、3段階で、「よかった」、「ふつう」、「よくなかった」にすれば「ふつう」になったのではないかという気がします。ちなみに、8－5頁（栄公民館・夏休み映写会）、9－1頁（下田公民館・子ども映写会（夏休み））の同じようなタイトルで評価がまったく違ってきます。評価の取り方をよく考えていただいて、ここでこんなに違ってきたら何かあるのではないかとよく考えていただきたい。</p>
小林委員長 小出委員	<p>ご指摘のとおりだと思います。今後検討をしていきたい。</p> <p>先ほどの通学合宿についてですが、下田では前から実施していて、子どもも親も楽しみにしています。全市となったとき、栄が少ないとか場所がないとかでなく、自然のある下田で続いているのは良さがあるからと思っています。確かに、一度に全部の学校に呼びかけるのも大変ですが、いくつかに分ければ参加できるのではないのでしょうか。自然の中で体験をでき、地産地消で地元のものを食べるのも大事、少しでも多くの子ども達に体験させていただきたい。</p>
	<p>川沼委員の意見も参考にして、よりよい通学合宿にしていきたい。</p> <p>1－1頁、中央公民館ふれあい自然体験（夏）の満足度で、「とても楽しくなかった」1人となっています。子ども達の融和がなかなかうまくできないそんな子ども達を一堂に集めて、たとえ1人・2人でも「楽しくなかった」という体験をさせるのは、子ども達の将来の楽しみを汚しているような感じがします。友達と遊ぶのがへた、このような子どもの対応を考えていかなければならない。放課</p>

丸山（正）委員	<p>後クラブなどでも気にかけているのですが、いい考えがあったら教えてほしい。</p> <p>関連で1－3頁、中央公民館・わんぱく大学（前期）で「友達ができなかった」が7人の33.3%です。これだけでなく、「友達ができなかった」がほかにも出てきます。何かメスを入れないと解決しません。たとえば、声かけ運動やチーム作りとかいろんなことを考えながらアンケートを活用していったほうがいいと思います。</p>
川沼委員	<p>関連で、そういう子をよく見ますが、今の世の中、家庭に問題があるのではないのでしょうか。あまりに恵まれて一人っ子、二人っ子など昔と育て方が違ってきています。私たちだけでどうにもならないことがあるのではないのでしょうか。学校にまかせるだけでなく、地域でやらなければならないのではないのでしょうか。まず声かけをやって地域に慣らせ、何かに興味を持たせる。ひとりにもぐる子を公民館運営審議会や教育委員会だけでなく、社会全体に影響があるものを三条市でどうするかいいアイデアだと思います。</p>
小林委員長	<p>ひとつ整理をさせてください。子ども事業として「満足しなかった」、「楽しくなかった」、「友達ができなかった」という子どもの素直な回答があります。その回答に対して、またこれから事業をやる立場として、こういう子ども達を楽しく、友達をいっぱい作るような方策を講じなければならないという中で、中央公民館長のお答えをお願いします。</p>
宗村中央公民館長	<p>アンケート結果については、貴重な意見と受け止めています。そこで、次につなげるためにどうするか、という前に、参加した子ども達が「楽しくなかった」、「友達ができなかった」という理由の分析が必要だと思っています。1－1頁の中央公民館・ふれあい自然体験では、理由に「リーダーにいじめられた」と書いてありました。以前にも話したと思いますが、今の子どもの心はガラス細工のようにもろい。何気ない一言に非常に傷つきやすい。1－3頁（中央公民館・わんぱく大学）でも「友達はできましたか」、「タメになりましたか」でも肯定的でなかったので担当者に聞いたところ、最後の授業が古いタオルを使って作るということで、女の子はおもしろい、男の子はおもしろくなかった、ということで、終わりの講座がおもしろくないとこういう結果になる部分もあるのかなと思いました。ふれあい自然体験で「おもしろくなかった」と書いた子のアンケートでも、源流体験はおもしろかったと書いてありました。おそらく、結果のよくない評価は、何気ないことが原因なのかということもあります。そうは言っても結果的に「楽しくなかった」ということでありますので、ボランティア学生や主催者などの方で、よく見ながら、隅っこにいる子がいたら声をかけるという形でこれからもやっていきたい。ただ、アンケートの怖さがここにあり、これだけを見て全てがそうだということでは決してない、そうでないということもあるのでご理解をいただきたい。</p>
鈴木副委員長	<p>5－19頁、大崎公民館の体育レクリエーション大会について、1,500人の大勢の参加で、公民館の予算では足りないと思うが、共催団体からどのような形で協力をお願いしているのでしょうか。</p>
大坂大崎公民館長	<p>自治会が1世帯から600円の寄付をいただき、その内25%を体育レクリエ</p>

	<p>ーション大会に充てています。約40万円位になりますが、それでは足りないので地域コミュニティが地区内の商店などから景品の寄付をお願いしています。公民館の経費は見込んでいません。そのほか、15行政区各自で昼食等の負担をしています。</p>
近藤委員	<p>1-9頁、中央公民館の子育てセミナーで、井栗小と大島小でのセミナーが終わっているので、参加人数を聞きたい。また、保護者数に対する参加者数の割合がわかれば教えていただきたい。</p>
石田大島公民館長	<p>大島小の参加者は、確実ではありませんが先生から80人位だと聞いています。</p>
宗村中央公民館長	<p>井栗小の参加者は55人、それぞれ割合については把握していません。</p>
近藤委員	<p>人数を見るだけでは、参加者が多いか少ないかわからないので、できれば保護者に対する割合があったほうが、セミナーに興味がある方がいると感じられます。終わった後のアンケートはとっているのですか。</p>
宗村中央公民館長	<p>アンケートはとっています。今集計中のため、結果については次回に出したい。</p>
近藤委員	<p>アンケートの中に保護者からこんな話を聞きたいということをとっていますか。</p>
宗村中央公民館長	<p>とらせてもらっています。</p>
米山委員	<p>4-7頁、本成寺公民館のからだの講座で、4回目まで人数が集まらず中止になり、折角の計画が残念です。その辺の原因はどう思いますか。</p>
小林委員長	<p>先ほどの本成寺公民館の説明で、高齢者の方は危機感があり、ほかは危機感がないのではないかという説明でしたが、ほかにあるのでしょうか。</p>
田中囑託員	<p>PRは各公民館の各講座、たとえば、1回目の「幼児のための…」については各公民館の幼児講座の際チラシを配る程度で実施しました。幼児、小中学生等にとっての生活習慣病への関心は、まだまだ先のことという感じでした。それしか思いつきません。</p>
米山委員	<p>全部が同じパターンで計画されているが、たとえば「幼児のため…」は、幼児がいると調理は無理だと思います。同じパターンではだめかなと思います。</p>
田中囑託員	<p>1回目（の幼児のための…）と2回目（の小中学生のための…）については、保育ルームも設置していました。</p>
小林委員長	<p>幼児のため、小中学生のため、と区分した方がいいと思って実施したわけですね。</p>
田中囑託員	<p>はい。</p>
小林委員長	<p>幼児や小中学生などと区分したほうが興味や関心があると思ってやった結果として、実施に至らなかった…。</p>
田中囑託員	<p>1回目と2回目が0人、3回目（成人のための…）が3人、4回目（中高年のための…）が1人の申込みでした。</p>
小林委員長	<p>分けたことが結果として来なかったという評価なのか、それとも高齢者だけが危機感があってほかはなかった、という考えに徹すると、また同じようなことがありますよ、ということだけ申し上げておきます。</p>
山井委員	<p>文化祭、作品展の関係で、6箇所見せていただき、特に下田は盛大でした。そ</p>

<p>小林委員長</p>	<p>こで感じたことは、他の館は受付の入口に1枚「作品展」と表示してあるだけでした。迎えることが大事なので、作品展の玄関をもっと飾ったり、BGMを流すなど工夫していただきたい。前を通った人も入れるように、と思いました。</p> <p>全ての公民館に言えるかわかりませんが、工夫をお願いしたいということだと思いますので、来年度に向けてお願いします。</p>
<p>丸山（正）委員</p>	<p>1-22頁、中央公民館のほっとお茶の間ですが、利用者数が少ない。理由は、知名度が向上してないのか、来るイベントが必要なのか、どのように考えていられますか。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>確かにこの数字を見ると、もっとにぎやかにご年配の方や子ども連れの家族などが来てもいいのかなと正直に思います。いろんなところでPRもやっているのですが、結果的に数字に跳ね返ってこないということはまだまだPR不足かもしれません。また、そこに行って何になるということもあるかもしれないと思います。今なかなか個人のお宅に集まって行くことができない社会情勢になっていて、個人のお宅にコミュニティみたいな形で行き来できるのがいいですが、できないのであれば少なくとも公民館をお茶の間がわりに使ってもらえればありがたいと思っています。期待と結果が食い違っていることについては、もう少し努力させていただきたい。</p>
<p>小出委員</p>	<p>ほっとお茶の間、いいことだと思うが利用している人がほとんどいない。これだけの場所を提供して、これだけしか利用していないのはもったいない。行きたくても足がなくていけない人を集める方法、たとえば巡回バスなど、集まりやすい状態を作ってやらないと、折角計画しても機能しないのではないのでしょうか。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>ここ以外で、地域で集まっているのではないですか。</p> <p>わざわざ、バスを使ったりして中央公民館に行かなくても、もっと身近な地域にあればいいのではないですか。それが、ほっとお茶の間が少ないのではないかという気がします。この事業はいい事業ですが、もっと有効に使える事業だとか考えることも含めて考えがあったら聞かせていただきたい。</p>
<p>高井委員</p>	<p>今の話は、部屋を貸すからどのようにも使ってくださいということですね。現代日本は、道徳倫理が崩壊してきている中、何か子ども達に教えてやれる時間、たとえば幼稚園から小学6年生にきっちり漢字教育ができるまちづくりをしたらどうでしょうか。教育に力を入れていただきたい。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>回答はいいので、次に反映させていただきたい。0にならなければいいのか、多くなればいいのか、存在も含めて検討いただきたい。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>1-5頁、中央公民館のどきどきキッズわーどは、大勢の参加ですが、対象者は小学生及び兄弟、父兄となっていますが、家族単位で来るのか友達どうして来るのか対象者の状況を教えていただきたい。また、指導者の状況も教えていただきたい。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>対象者のメインは、小学生をターゲットにしていますが、家族の方、保育園の子どもさんなど家族で来られます。指導者は、パソコンであればITリーダー、オカリナコンサートは大島公民館のオカリナ教室の方の協力をいただき、その他の部門はレクリエーションリーダーや各公民館職員です。</p>

丸山（宗）委員	私は、小学校の前に住んでいるので、子ども達の様子がわかります。6年間の間でも毎年違ってきます。一律に見てああだ、こうだ、ではかわいそう、その辺を考えて実施してほしい。
野崎委員	いろいろな講座をやっている中で、年齢的に最初の、小学就学前の幼稚園・保育所の講座があります。アンケートとは別に、参加している保護者の雰囲気や状況をお聞きしたい。
宗村中央公民館長	毎日の子育ての中で、いろいろな講座に参加することで新しい発見ができるということで、満足度の結果からもわかりますが、皆さん喜んで受講していられます。この報告には具体的に書いてありませんが、いい感想をいただいております。皆さん非常に熱心に聞いています。私自身も、講座に参加して聞かせていただいたときは、子育ての時期に聞きたかったし、いいお話を聞いたなあと思います。参加された皆さんも同じように考えていると思います。
野崎委員	今の子育ての悩みの雰囲気がでてくればと思います。
小林委員長	他に質問、意見はありませんか。他にないようですので、本件について了承いたします。
宗村中央公民館長	次に、議題（２）協議事項「ア平成21年度公民館運営計画（案）について」説明をお願いします。
小林委員長	—— 資料冊子No.3に基づき説明 ——
丸山（正）委員	ただいまの説明に関し、何か質問、意見がありましたらお受けします。
宗村中央公民館長	運営計画は、短くまとめてありますが、三条市生涯学習推進計画に沿っているのでしょうか。
小柳委員	基本的に生涯学習推進計画が最上位にあり、それに基づいた位置づけになっています。
小林委員長	運営方針の（４）公民館の連携による事業の活性化をぜひとも取り組んでいただきたい。個々の精査をやっていただき、たとえば先ほどのほっとお茶の間の利用率、また、参加者が少なく開催できなかった事業など思い切って止めるという決断、また宿泊を伴う事業は、前にも話したが、お互い食い合うこともありどちらかしか選べない、その辺も含めて連携した計画を立ててほしい。
宗村中央公民館長	基本方針があつて運営方針があり、各公民館が事業に取り組むわけです。21年度の大きな柱となるものですので、じっくり見ていただきたい。
小林委員長	1つだけ私から。今の現状を随分悲観的に、「取り巻く社会環境は悪化の一途をたどっている傾向」と限定されたという中で、私たちを取り巻く劣悪の環境を、自分自身がこれから公民館を含め生涯学習を得ることによって解決策が図れる、という大きな命題みたいに言われていますが、ここで解決できるのかと思うわけです。基本方針に基づいた運営方針で、それに基づいた事業計画ですが、公民館はここに書いた訳で、劣悪な環境においても運営計画に基づいた事業計画で、先ほど命題と申し上げたが、展望が開けて、私達が生きる力を劣悪な環境の中でも身につけられるという風に運営方針を立てられたという自信はありますか。
宗村中央公民館長	そういう状況だからこそ、公民館が生涯学習の一つとして取り組まなければならないと思っています。公民館が事業を行うことで、全てが解決することというこ

	<p>とは考えていません。ただ、たとえば、生きがい事業をやることによってみんなが明るく豊かに過ごしていければいい、これから社会を担う子ども達の体験であるとか、今本当にどのような社会状況になっているのか、みんながどういうことを学ばなければならないのか、少しでも市民に提供して、多少はこういう状況が良くなってほしいという願いの中で計画を立てさせていただいたつもりなのでご理解いただきたい。</p>
小林委員長	<p>他に意見等ありませんか。ないようですので、承認とさせていただきます。</p>
宗村中央公民館長	<p>次に議題（３）「その他」について、事務局から何かありませんか。</p> <p>—— 追加資料（仮称）第二中学校区公民館建設事業についてに基づき説明 ——</p> <p>—— 公民館施設の申込期間の拡大について説明 ——</p>
川沼委員	<p>第二中学校区の予算は３億円ということですが、下田は予算を下げられたが、いい物を作っていただきたい。</p>
宗村中央公民館長	<p>公民館を使用する際について、いろんな子ども事業がありますが、保護者や責任者がいない子どもだけでの使用はできないと思いますが、その辺きっちり話をしておし合わせをしていただきたい。子ども達で自主的に遊びたいでしょうが、きれいなことでも体験させることが大切ですが、規約が必要だと思います。</p>
小林委員長	<p>守らなければならないことは、決まっています。子どもだけで遊ばせることはしません。ただ、公民館の事業として取り組むことはあります。</p> <p>第二中学校区公民館建設と公民館申込期間に限って質問等を受け付けます。ありませんか。</p>
小林委員長	<p>—— しばらくの間、声なし ——</p> <p>せっかくの機会ですので、何か質問、意見などお聞きするのですが、時間もなく、皆さんから意見もいただきました。この辺でよろしいでしょうか。</p> <p>—— なしの声あり ——</p>
小林委員長 長橋中央公民館 長補佐	<p>それでは、最後に事務局から連絡事項等ありますか。</p> <p>特にありません。</p>
小林委員長	<p>それでは、第２回公民館運営審議会を閉じたいと思います。記録につきましては、事務局が作成したものを私と中央公民館長が確認し、会議録として調整のうえ、教育委員会と市の情報公開コーナーへ提出及びホームページへ掲載しますので、ご了承をお願いします。</p>
鈴木副委員長	<p>最後に、鈴木副委員長さんから閉会のあいさつをお願いします。</p> <p>本日は、ご多忙のところ、ご出席ありがとうございました。</p> <p>先ほどは、各種講座の実施報告、後期事業計画案、２１年度公民館運営計画案及びその他について、慎重審議ありがとうございました。</p> <p>内閣府が５・６月に生涯学習について調査した結果を新聞で見せていただきました。７０％の方が生涯学習に希望され、昨年１年間で生涯学習に参加した人が４７．２％、非常に生涯学習に意欲をもたれています。これから団塊世代の退職等がある中で、公民館の仕事が多忙になると思います。職員や予算の増が難しい中、見直しや改革を検討してもらい市民の方に迷惑がかからないようにしていた</p>

だきたい。

子どもから年配の方まで、たくさんの方々から公民館事業、生涯学習に参加していただき、三条のまちづくり、ひとづくりにつなげていただきたいということをお願いしてあいさついたします。